

沿岸域における高解像流動水質シミュレーション

大阪大学 大学院工学研究科 地球総合工学専攻

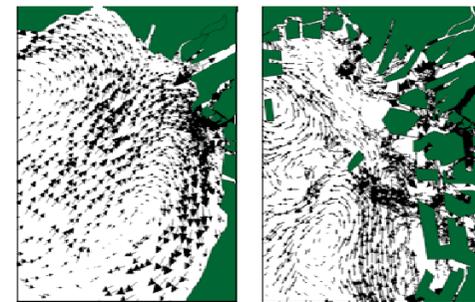
中谷祐介, 石橋春佳, 大城光, 中友太郎

目的 大阪湾沿岸域の地形改変が, 海域や河川感潮域の流動・水質構造に及ぼす影響を明らかにする.

内容 三次元数値モデルFVCOMにより, 内湾~河口~河川をシームレスかつ精細に解像した計算格子を用いて, 現在地形と過去地形における流動水質シミュレーションの結果を比較した.

結果 沿岸地形の変化は, 海域だけでなく, 河川感潮域の流動や水質にも無視できない影響を及ぼすことがわかった.

利用した計算機	VCC, OCTOPUS
ノード時間	14,000時間
使用メモリ	25GB
ベクトル化率	不明
並列化	240並列



地形改変による大阪湾奥部の流動構造の変化